

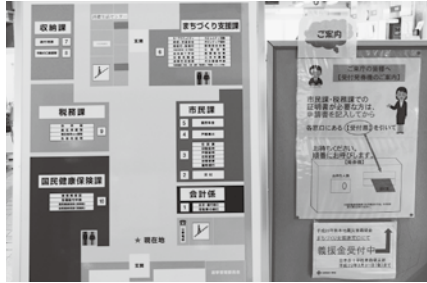


氣田 量子
(自民公明クラブ)

転入者に優しい ワンストップ窓口を

手続の負担軽減を検討

議員 転入時の手続で市民が移動したり待たさねないように、ワンストップ窓口や担当職員が
民生部長 転入時の家族構成や年齢要件などから、手続に漏れがないよう必要と思われる全ての課を案内しています。また一つの窓口で手続を行うと他の方の待ち時間が長くなることから、現時点では大変難しいと考えています。今後手続の際の負担軽減を早急に検討したいと考えています。



求められるスムーズな窓口案内

方や町内会の案内等の説明をしています。また、手続以外の場面でも多くの行政サービスの情報提供ができるよう庁内で連携し転入者へのサービス向上を図りたいと考えています。

議員 休屋地域の活性化には秋田県小坂町との連携が重要だがどのように進めていくのか。
市長 小坂町とは定住自立圏を構成する自治体として相互に連携し、地域住民の生活機能を確保するため、共生ビジョンに定めた十二事業に取り組んでいます。今後も情報共有を図り、連携すべき事業は取り組みを進め、休屋地域の活性化に努めたいと考えています。

議員 十和田八幡平国立公園が国立公園満喫プロジェクトに選ばれ、十和田湖観光活性化が期待されるが、市の方針は。

観光商工部長 十和田湖、奥入瀬、八甲田地域の観

光振興の大きな起爆剤になると考えています。自然景観を最大限に活用し多くの観光客を受け入れるため、市では蕪温泉の公衆トイレ改修に取り組むほか、休屋地区の廃屋撤去や携帯電話非通話エリアの解消などに取り組みよう国や県に働きかけています。

バス待合所等整備に 費用の助成を

他自治体の事例を参考に 検討したい



舛 甚 英文
(日本共産党)

ことになっていきますが、公共交通の利便性向上や利用促進は、当市のにぎわいの創出や交流人口の拡大につながることから、他自治体の事例を参考に、各関係機関と協議し検討したいと考えています。

議員 病児・病後児保育事業の委託料の加算額算定人数を百人ごとにする考えは。
健康福祉部長 当市の場合、病児対応型基本分の額に、年間延べ利用児童数に応じた額を加算しています。延べ利用数が七百九十九人までは国の補助基準額に合わせておおむね二百人ごとに加算額を設定し、八百人以上の場合には児童一人につき一万七十円の加算にしています。

議員 雨・雪・風対応のバス停留所設置へ助成する考えは。
企画財政部長 用地、歩道幅員、整備費及び維持管理費確保などの課題により、三百三十カ所のあるのは四十六カ所のみです。待合所等の整備は通常バス運行事業者が行う

議員 現在病児・病後児保育事業を行っている施設は一カ所のみだが、ふやす考えは。
健康福祉部長 今後の利用者数の推移やニーズなどを踏まえて判断したい

と考えています。

議員 奥入瀬渓流の散策をより楽しめるように、遊歩道に木材チップを敷き詰める考えは。
観光商工部長 木材チップを利用した遊歩道は環境に優しく自然景観にもマッチし、またクッション性にもすぐれ足首や膝への負担が少ないと言われ、十和田神社の杉並木参道にも杉のチップが利用されています。奥入瀬渓流は特別保護区などの各種規制があることから遊歩道を管理している県と協議を進めたいと考えています。



木材チップで快適な遊歩道を